

【NEWS RELEASE】

2018年5月15日

各 位

株式会社三井住友銀行

関東鉄道株式会社に「SMBC事業継続評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、関東鉄道株式会社（代表取締役社長：松上 英一郎）に「SMBC事業継続評価融資」を実施致しました。

「SMBC事業継続評価融資」は、MS&ADインターリスク総研株式会社（代表取締役社長：村戸 眞）¹と三井住友銀行が共同で開発した独自の評価基準に基づき、企業の事業継続計画（BCP²）および事業継続マネジメントシステム（BCMS³）の構築・運用状況等を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、事業継続における今後の改善余地や取組のポイントについて、MS&ADインターリスク総研株式会社より還元させていただく融資商品です。

今回対象となりました関東鉄道株式会社の事業継続への取組に対する評価では、特に以下の点等が評価の対象となりました。

グループ全体のシステム安定稼働のため、グループ内のシステム担当会社に非常用発電機が設置されているなど、グループの事業継続力を高める取組が着実に実施されている点
BCP完成に向けて、積極的に同業他社との情報交換を実施されている点
予算確保を含めて社内の資源が適切に分配されているなど、次年度に向けた取組が計画的に実施されている点

三井住友銀行では、「SMBC事業継続評価融資」により、有事における企業の事業継続対応のための体制構築を支援するとともに、企業のリスク管理の取組を金融の立場から支援することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



地域の交通インフラを支える同社車両
（左：関鉄グループ全路線に交通系 IC カード導入
右：2017 年春に導入されたキハ 5010 型車両）

<ご参考>

1 MS & ADインターリスク総研株式会社

MS & ADインシュアランスグループで「リスクマネジメント事業」を担うコンサルティング会社。企業の事業継続やリスク管理における豊富なコンサルティング実績を持ち、事業継続分野の国際協会であるBCI（事業継続協会）の日本支部において中心的な役割を担っている。

2 事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）

事故や災害などが発生した際に、「いかに事業を継続させるか」若しくは「いかに事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について作成する計画書および手順や情報を文書化したもの。

3 事業継続マネジメントシステム（BCMS：Business Continuity Management System）

BCPをもとに組織の復旧力や対応力（事業継続性）を継続的に向上させるフレームワークおよび仕組のこと。BCMSは、BCPの策定から運用、見直しまでのマネジメントシステム全体を指し、事業継続への取組が効果的に運用管理され、必要に応じて改善し、それを実行するためにはPDCA（Plan Do Check Action）を実現するマネジメントが要求される。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。